

# 時代の潮流に対応した金属労協の取り組み課題の整理

## 3つの時代の潮流

グローバル化

生存環境の悪化

超少子・超高齢化

金属産業への影響

- アジアを中心とする競争激化と事業分業化
- WTO・FTAの世界的な加速化
- グローバル化による生産条件格差の顕在化
- デフレ経済や不安定な為替相場による競争体力の低下
- 労働市場におけるルールの弱体化
- グローバル化社会における社会的責任の拡大
- 参入規制による産業活力の低下

- 京都議定書をはじめとする、有害な排出物に対する厳格な制限と責任の拡大
- 環境と経済の両立にむけた産業としての挑戦
- 持続可能な環境技術への世界的なニーズの高まり
- 大規模災害や感染症の拡大
- 労働災害の増加

- ものづくり・金属産業における1人あたり付加価値生産性向上の重要性の高まり
- 金属産業をはじめとする生産性の高い分野への適正な労働力・資金の配分の重要性の高まり
- 産業の次代を担う技術・技能者不足
- 税・社会保障の勤労者の負担増

I  
グローバルな市場経済のなかで、わが国金属産業が引き続き世界市場をリードしていくための環境づくり

II  
生命の安全に対する地球規模での脅威をくい止めるための政策(地球温暖化対策など)

III  
超少子・超高齢化のなかで国民の豊かさを確保していく仕組みづくり(国全体の生産性向上)

民間・ものづくりの中核をなす金属産業としての取り組みの方向

## 具体的な取り組み項目

民間

【I・III】国全体の生産性向上を図る構造改革  
行政改革、財政構造改革、民間参入促進、公共事業改革など

【I・II】健全な企業活動を行うための環境整備  
公平・公正な競争環境・慣行の追求、CSR・COCの推進など

【III】勤労者のためのセーフティネットの構築  
持続可能な社会保障制度整備など

【I・III】「良質な雇用」創出のためのワークルール整備、ワーク・ライフ・バランスの確立  
労働法制理念の追求、テンポラリーな雇用の制限、ILO中核的労働基準の遵守、総実労働時間短縮取り組み促進、外国人労働者対策など

ものづくり・金属

【II】地球環境保全、温暖化対策の徹底  
全世界的な環境保全枠組み構築、実効性ある温暖化対策徹底、環境技術開発・製品の普及促進、国民の環境意識向上など

【I】ものづくり・金属が活力を発揮するための経済政策  
自由貿易体制(WTO・FTA)の維持・強化、金融・為替政策の安定など

【I・III】金属産業で働く勤労者のための雇用・労働条件の向上  
60歳以降就労確保、産業別最低賃金維持・発展など

【I】ものづくり・金属産業の基盤強化  
競争力を高める戦略確立、技術・技能の伝承、産業インフラ整備・インフラコストの引下げなど

【I・III】ものづくり・金属産業の次代を担う人材育成  
「ものづくり教育」の強化、技術・技能評価制度整備、スキルアップ訓練など